

<収穫期の残草の影響>

- ・ 収穫機械に絡まり故障。
- ・ 収穫物に水分が付き汚損。

適切な管理で雑草防除しましょう！

<雑草防除のポイント>

- ・ 除草剤散布（化学的防除）
- ・ 中耕培土（耕種的防除）

○除草剤のポイント

【防除薬剤例】

薬剤名	使用時期		薬量 (10a当たり)	適用雑草	使用方法 (注3)
大豆 バサグラン液剤 (注1)	大豆生育期 (雑草6葉期まで)	収穫 45日 前まで	300～ 500ml	1年生雑草 (イネ科を除く)	畦間雑草 茎葉雑草
	大豆2葉期 から 開花期前		100～ 150ml		雑草茎葉散布 または 全面散布
アタックショット 乳剤 (注2)	大豆2葉期 から 開花期前		30～ 50ml	1年生 広葉雑草	
ポルト フロアブル	雑草生育期	収穫 30日 前まで	200～ 300ml	イネ科雑草 (スズメノ カタビラは 除く)	雑草茎葉 散布又は 全面土壌散布
パワーガイザー	出芽直前～3葉期 まで (雑草2葉期まで)			1年生 雑草	
	大豆生育期 (雑草2葉 期まで)	収穫 30日 前まで			畦間雑草茎葉 散布

- 注1 大豆バサグラン液剤は、「すずおとめ」において薬害発生の可能性が高いため、注意しましょう。
- 注2 アタックショット乳剤は、現在製造中止となっています。
- 注3 使用方法が全面散布以外の方法は、薬害が出るため、作物体にかからないように使用しましょう。

<中耕培土のポイント>

中耕の最大の目的は、畦間の雑草をすき込む除草効果です。しかし、土壌に湿り気が多い場合、中耕後も雑草が死なず、後に再生する可能性があるため、土壌水分に注意してください。